

7 子どもワークショップの結果

子ども企画委員会「ぼくらの未来を考えよう!」委員会の概要

新・さっぽろ子ども未来プランの策定に当たり、子どもの意見を聞くため、子ども企画委員会「ぼくらの未来を考えよう!」委員会を設置し、小学5年生から高校生を対象に公募で集まった子どもたちと意見交換を行いました。

意見交換では、子どもたちを3グループに分け、それぞれテーマを「子どもの権利」「子育てしやすいまち」「放課後や休日の居場所、体験活動」としました。各グループでは、最初に職員から現状を説明し、テーマに対する問題点や課題について話し合いを行いました。

次に、こうなしてほしい札幌の未来について話し合いを行い、そのために子どもたち自身ができること・すべきことや、大人や市にしてほしいことについて話し合いの結果をまとめました。

1 参加者

小学5年生から高校2年生までの14名。

参加者の募集は、チラシを作成し、各学校や区役所などの公共施設へ配布。

2 実施日

平成26年7月29日（火）10時～15時

3 結果概要

(1) 現状

- **子どもの権利**
 - ・ 子どもの権利について
 - ・ アンケート「子どもの権利が守られているか?」の結果について
 - ・ 権利条例の認知度について
- **子育てしやすいまち**
 - ・ 札幌市の子育て施策について
 - ・ アンケート「子育てに楽しさと大変さのどちらを感じるか?」の結果について
 - ・ ワーク・ライフ・バランスについて
- **放課後や休日の居場所、体験活動**
 - ・ 体験活動の内容について
 - ・ アンケート「札幌は体験しやすい環境か?」の結果について
 - ・ アンケート「放課後や休日の過ごし方」の結果について



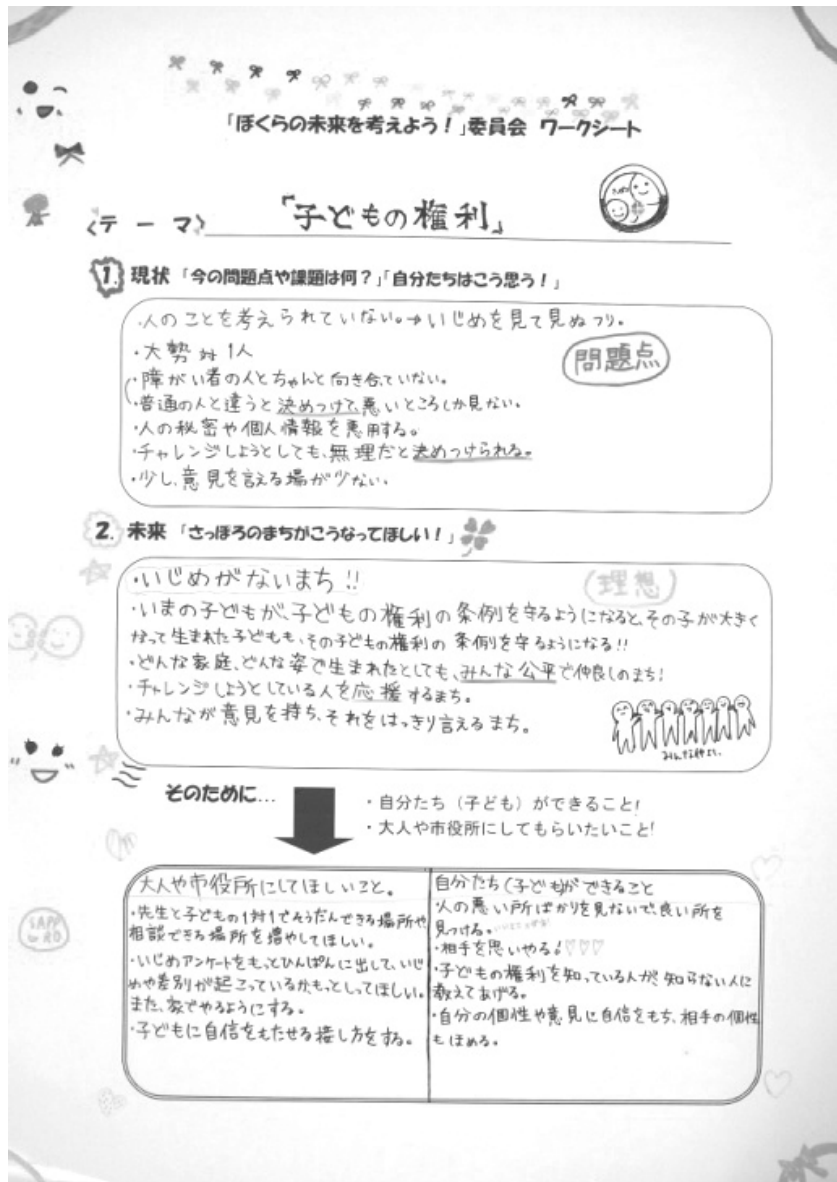
(2) 子どもからの意見の概要

○ 子どもの権利

「主な意見」

- ・権利条例は知らないが、パンフレットは見たことがあるし、アシストセンターは知っている。
- ・自分がというわけではないが、いじめはあると思う。いじめられている人を見てもなかなか声をかけるのは難しい。自分がいじめられてしまうと感じるので、そこは大人になんとかしてほしい。安心して生きる権利は、守られていないことが多いと思う。
- ・自分らしく生きる権利が守られて、個性が尊重されるといじめる人もいなくなると思う。
- ・グループ内には塾に行っている子どもが一人もいなかったが、周りには毎日習い事に行ったり、塾に行っている人も結構いる。豊かに育つ権利については、守られていると思う。
- ・生徒会や学級会など、学校で意見を言える機会はあるが、もう少し増えるといいと思う。
- ・今日のように、違う学校や学年の人と話したりする機会が増えるといいと思う。

「まとめた内容」

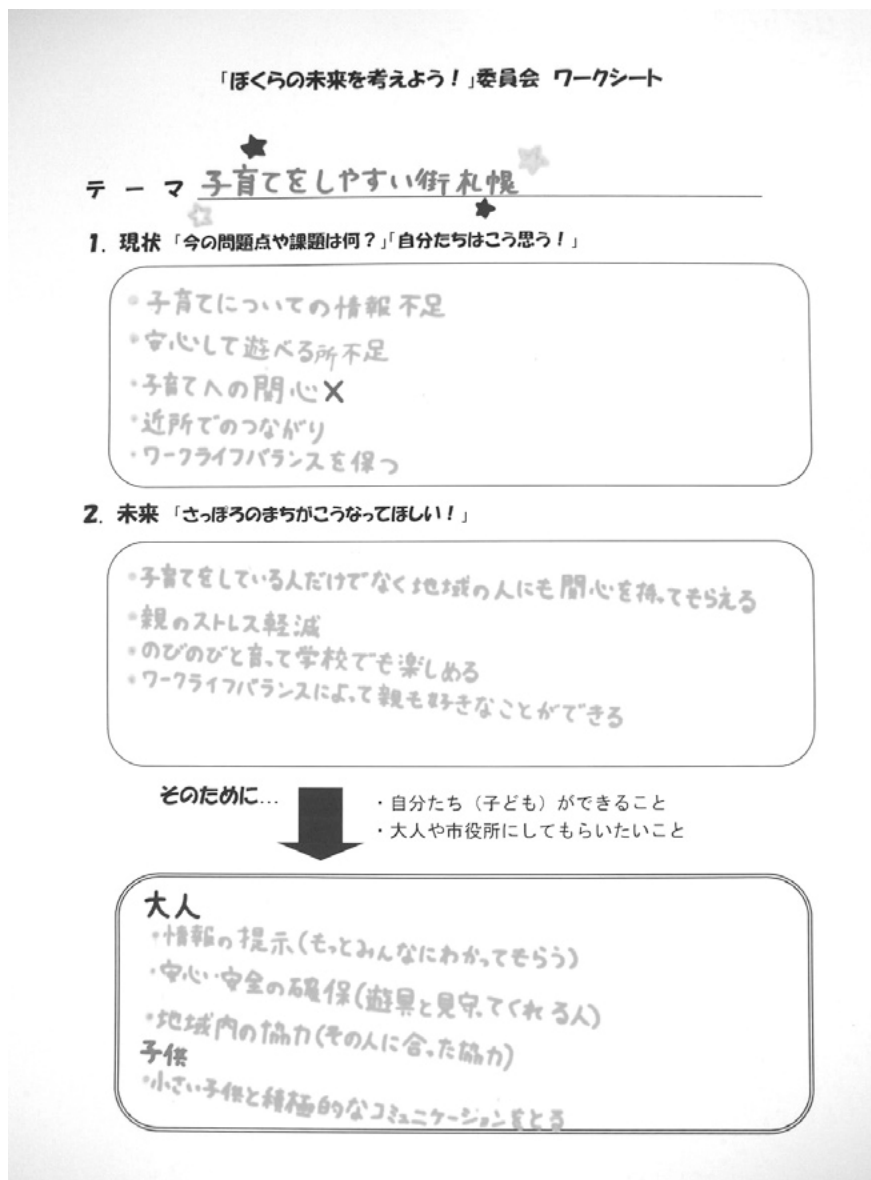


○ 子育てしやすいまち

「主な意見」

- ・子育て中の人が多いものを持っているなど、困っているときに助けてあげるとよい。
- ・小さい子どもと積極的に関わるようにする。
- ・公園などで親と小さい子が遊んでいるときに、その子どもと遊んであげると親の負担を減らすことができると思う。そうして近所の人との関わりを深める。
- ・子育てを経験した人がアドバイスできるようにする。
- ・1か月に1回は、親が子どもとたくさんふれ合える日をつくるようにする。
- ・子どもを安心して預けることができる環境をつくる。
- ・雑誌や地下鉄の広告などで子育てのサービスや施設について情報発信をする。

「まとめた内容」

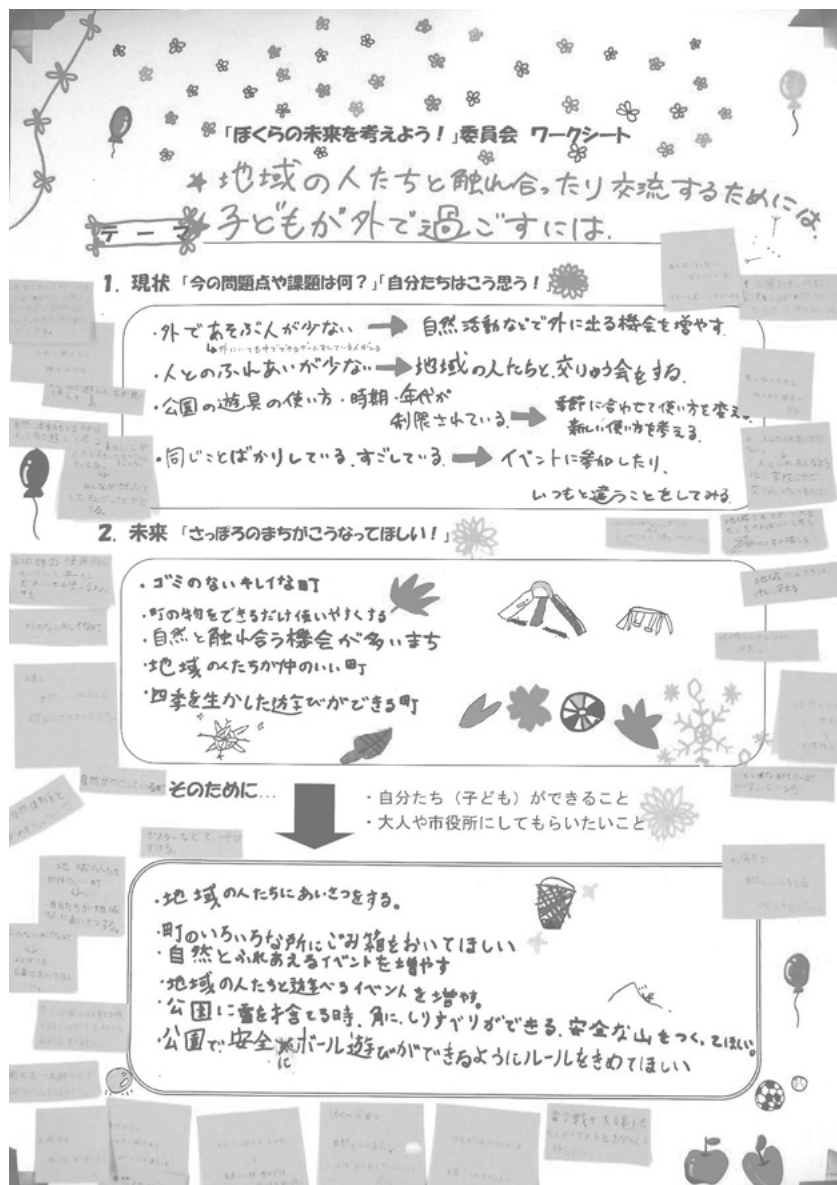


○ 放課後や休日の居場所、体験活動

「主な意見」

- ・放課後や休日に学校の図書館を開放してほしい。
- ・学校のグラウンドや体育館でイベントをひらいてほしい。
- ・公園でバーベキューができるなど、自由に使えるようにしてほしい。
- ・地域の人と関わることが増え、仲良くなると、犯罪が少なくなり、安心してすごせる。あいさつが大事。
- ・外でもゲームをしている子どもが多いので、公園で体を動かして遊ぶようにすればいい。
- ・違う年代の人とふれ合う機会が少ないので、そうした機会を増やしてほしい。
- ・札幌は四季がハッキリしているので、それを生かして地域のイベントなどをするとよい。

「まとめた内容」



8 計画案に対する市民意見

計画案を公表し、意見を募集しました。募集期間中に寄せられたご意見については、意見の概要とそれに対する市の考え方をまとめるとともに、計画に反映できるものは計画内容を変更しました。

また、多くの子どもたちからご意見をいただく「キッズコメント」や学校訪問も併せて実施しました。

パブリックコメント結果

1 実施の概要

(1) 意見募集期間

平成27年1月28日（水）から2月26日（木）まで

(2) 意見募集方法

郵送、持参、FAX、Eメール

(3) 資料配布・閲覧場所

子ども未来局、札幌市役所本庁舎（1階ロビー、2階市政刊行物コーナー）、各区役所（総務企画課広聴係、健康・子ども課）、子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター（ちあふる）、札幌市内の保育所・幼稚園・認定こども園、札幌市内の小中学校・高等学校・特別支援学校、札幌市内の児童会館 など

2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳

(1) 意見提出数・意見件数

176人（団体2を含む）・444件

(2) 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	0人	19人	53人	29人	13人	1人	2人	59人	176人
構成比	0%	10.8%	30.1%	16.5%	7.4%	0.6%	1.1%	33.5%	100%

(3) 意見内訳

意見区分	件数	構成比
計画全般に関する意見	25件	5.6%
少子化対策に関する意見	8件	1.8%
子どもの権利の推進に関する意見	10件	2.3%
いじめや児童虐待などの子どもの権利侵害に関する意見	10件	2.3%
保育施設の整備や保育サービスに関する意見	203件	45.7%
放課後の居場所・留守家庭支援に関する意見	48件	10.8%
仕事と子育ての両立に関する意見	7件	1.6%
妊娠・出産や親子の健康に関する意見	15件	3.4%
子育て支援・経済的支援に関する意見	57件	12.8%
防犯・子育てしやすい生活空間に関する意見	1件	0.2%
学校教育に関する意見	5件	1.1%
体験機会・活動場所に関する意見	15件	3.4%
社会的自立が困難な若者への支援に関する意見	1件	0.2%
障がいのある子ども・発達が気になる子どもへの支援に関する意見	12件	2.7%
ひとり親家庭への支援に関する意見	7件	1.6%
その他の意見	20件	4.5%
合計	444件	100%

3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

- (1) 意見提出数・意見件数

751人・1,080件

- (2) 年代別内訳

年 代	小学生	中学生	その他・不明	合計
人 数	281人	466人	4人	751人
構 成 比	37.4%	62.1%	0.5%	100%

- (3) 意見内訳

意見区分	件数	構成比
子どもの権利を多くの人に知ってもらう普及啓発に関すること	199件	18.4%
子どもの権利を理解してもらうため、学校と協力すること	55件	5.1%
意見を言ったり、参加したりできる機会を増やすこと	79件	7.3%
子どもの体験活動や児童会館について	147件	13.6%
子どもの権利侵害から子どもを守る取組について	118件	10.9%
いじめや不登校について	222件	20.6%
子育て家庭への支援について	69件	6.4%
だれもお互いを大切にしようとする社会について	18件	1.7%
その他、計画全体	173件	16.0%
合計	1,080件	100%

4 学校への訪問

- (1) 実施日

平成27年2月3日（火）～5日（木）の3日間

- (2) 対象

小学校1校、中学校2校

- (3) 概要

各学校を訪問し、小・中学生向けの計画案をもとに、計画の目的、権利条例や札幌の子どもの現状、子育て支援の取組などについて説明し、児童・生徒と意見交換を行いました。

- (4) 児童・生徒からの主な意見

【子どもの権利の普及啓発について】

- ・ 子どもの権利について、教科書に書いて、道徳の授業で教えるようにすると、子どもが理解するようになる。
- ・ 子どもの権利や権利条例について、テレビCMをながす。
- ・ お祭りやイベントなど、人が集まる場所でPRすると多くの人が知ることができる。
- ・ 子どもには、絵本だけではなく、カルタやゲームなどにすると、遊びながら知ることができる。
- ・ 「権利」という名前が難しいので、別の言葉に変える。

【子どもの意見表明や参加について】

- ・ 言論の自由があることをきちんと子どもに教える。
- ・ スマートフォンを持っている子どもも多いので、気軽に意見を言うことができるように、アプリで市役所へ意見や提案を伝えることができるとよい。

【児童会館などでの体験活動について】

- ・ ミニ児童会館でサッカーがしたい。
- ・ 中学生が児童会館で利用できる夜間の時間が短いので、延ばしてほしい。

【子育て支援について】

- ・ 「子育て」に対して、「楽しさの方が多い」「楽しさと大変さが同じくらい」「大変さの方が多い」どれだと思うか？
→ 「楽しさが多い」3割弱
「同じくらい」5割程度
「大変さ」2割程度
- ・ 子育ては、大変だとは思いますが、楽しさの方が多いと思う。子どもが小さいうちは大変だけど、成長する過程を見ることができ、それに伴って親も一緒に成長できると思う。
- ・ 子育てサロンが増えると、女性が安心して外出できるようになる。
- ・ 自分に子どもがいることを想像すると、歩きタバコをしている人などがいると悪影響があり安心できないので、もっと対処してほしい。
- ・ 子ども服の店でも段差があったり、小さい子連れの人専用のエレベーターに子連れではない人がのっていたりするので、そうしたことをもっとみんなで考えていけると、子育てしやすいまちになると思う。



5 市民意見に基づく計画書の変更点

大人や子どもからいただいたご意見をもとに、計画書を一部修正しました。また、他のご意見についても、本計画を実施するうえで可能な限り取り入れていきます。

〈修正点1〉

該当箇所	基本目標1-基本施策2-2 「子どもの参加の機会の充実と支援」・・・51ページ
修正前	市政への子どもの視点の反映について、子ども自身が内容を理解しやすいように、家庭や子ども同士で話し合い考えたりできるような、子どもにわかりやすく、魅力的な情報発信に努め、「子ども企画委員会」、子ども向けのパブリックコメントやアンケートの実施などのこれまでの方向性を継続しつつ、子どもの参加をより積極的に進めます。
修正後	市政への子どもの視点の反映について、子ども自身が内容を理解しやすいように、家庭や子ども同士で話し合い考えたりできるような、子どもにわかりやすく、魅力的な情報発信に努めるとともに、子どもが気軽に意見を提案できる方法を取り入れていきます。また「子ども企画委員会」、子ども向けのパブリックコメントやアンケートの実施などのこれまでの方向性を継続しつつ、子どもの参加をより積極的に進めます。
修正理由	子どもが市政等について意見を言うことについて、子どもから、「もっと気軽に意見を言える方法があるとよい。」といった趣旨の声が寄せられました。 計画では、返信ハガキのついた資料による子どもからの提案意見の募集なども行うことから、本文にもその旨を明記しました。

〈修正点2〉

該当箇所	基本目標1-基本施策3-3 「子どもが安全に安心して過ごすための地域づくり」・・・57ページ
修正前	子どもを不審者から守るための活動や、子どもが身近な公園で安心して遊ぶことができるための活動、さらには非行防止を含めた子どもの健全育成に関する活動など、地域住民が関心を持って子どもと関わる取組を、町内会や青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会、PTAなどの関係団体、NPOなどと連携を図りながら地域全体で進めていきます。
修正後	子どもを不審者から守るための活動や、子どもが身近な公園で安心して遊ぶことができるための活動、いじめや児童虐待の理解さらには非行防止を含めた子どもの健全育成に関する活動など、地域住民が関心を持って子どもと関わる取組を、町内会や青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会、PTAなどの関係団体、NPOなどと連携を図りながら地域全体で進めていきます。
修正理由	いじめや児童虐待といった子どもの権利侵害への対応については、基本施策4に位置付け、具体的な施策の展開をしているところですが、「子どものいじめや虐待など、関係団体を対象とした講習を実施すべき。」といったご意見をいただきました。 権利侵害の予防や対応については、行政のみならず地域の役割が非常に重要であるため、「子どもが安全に安心して過ごすための地域づくり」に権利侵害を未然に防ぐ観点から、ご意見を反映するよう修正を加えました。

〈修正点3〉

該当箇所	基本目標1-基本施策4-2 「権利侵害を起こさない環境づくり」・・・61ページ
修正前	子どもに対しては、子どもが自ら持つ権利に対して理解を深めるとともに、子どもが他者を尊重する意識を身に付けることができるよう、障がい、民族、国籍、性別など、子どもの権利を含めた人権に関する教育や様々な機会を通じた学びの機会を充実します。
修正後	子どもに対しては、子どもが自ら持つ権利に対して理解を深めるとともに、子どもが他者を尊重する意識を身に付けることができるよう、障がい、民族、国籍、性別など、子どもの権利を含めた人権に関する教育や 直接子どもたちに働きかける出前授業などをはじめとした 様々な学びの機会を充実します。
修正理由	子どもたちから、「パンフレットなどの広報だけではなく、直接学校に来て、どんな相談があるのかななどの説明を受けた方が実感できる。」といった声が複数寄せられたことから、計画本文にもその内容を反映させるよう修正を加えました。

〈修正点4〉

該当箇所	基本目標2-基本施策1 「働きながら子育てしやすい環境の充実」＜施策の方向性＞・・・64ページ
修正前	そこで、平成25年度に就学前児童の保護者を対象に実施した実態・意識調査をもとに、平成27年度以降5年間の各区の保育サービスのニーズ量を明らかにしました。そして、その各区のニーズ量を満たすよう、保育施設やその他保育サービスにかかる事業を整備することとしています。
修正後	そこで、平成25年度に就学前児童の保護者を対象に実施した実態・意識調査をもとに、平成27年度以降5年間の各区の保育サービスのニーズ量を明らかにしました。そして、その各区のニーズ量を満たすよう、 保育の質の確保にも十分配慮しながら、 保育施設やその他保育サービスにかかる事業を整備することとしています。
修正理由	「教育・保育などに関する需給計画」に基づく保育施設の整備に当たっては、供給量に応じた保育士の確保や子どもの安全・安心に配慮した施設の整備など、保育の質の担保を懸念するご意見が複数寄せられたことから、計画本文にも、保育の質を確保しながら整備を進めていく旨を明記しました。

〈修正点5〉

該当箇所	基本目標2-基本施策1 「働きながら子育てしやすい環境の充実」＜施策の方向性＞・・・64ページ
修正前	また、仕事と生活を両立することができる環境を充実させていくためには、保育サービスの充実だけではなく、労働者を雇用する立場である企業を中心とした地域社会の理解や協力が必要となります。
修正後	また、仕事と生活を両立することができる環境を充実させていくためには、保育サービスの充実だけではなく、 育児休業の取得や子育てに理解のある職場環境づくりも重要であるため、 労働者を雇用する立場である企業を中心とした地域社会の理解や協力が必要となります。
修正理由	現状においては、育児休業の取得や子育てをしやすい職場環境などが十分に整っておらず、出産や育児を機に退職せざるを得ないとのご意見が複数寄せられたことから、計画本文にも、仕事と子育ての両立を社会全体で進めるうえで必要な企業等の視点として明記しました。

〈修正点6〉

該当箇所	基本目標2-基本施策3 「子育て家庭に対する相談支援の充実」〈施策の方向性〉・・・69ページ
修正前	そのためには、地域内の子育て支援に関わる施設や事業間の情報共有を推進するなど既存事業を有効に活用しながら相談・支援体制を整えることが重要であり、区保育・子育て支援センターの役割の見直しを図るとともに、保護者が子育てに孤立することのないよう子育て家庭への個別支援の強化などを進めていきます。
修正後	そのためには、地域内の子育て支援に関わる施設や事業間の情報共有を推進するなど既存事業を有効に活用しながら相談・支援体制を整えることが重要であり、区保育・子育て支援センターの役割の見直しを図るとともに、保護者が子育てに孤立することのないよう様々な方法を検討し、子育て家庭への個別支援の強化などを進めていきます。
修正理由	孤立化する子育ての家庭への支援に当たっては、各家庭において孤立化する事情も異なることから様々な地域資源を有効に活用すべきという趣旨のご意見が寄せられました。そのため、計画本文にもその内容を反映させるよう修正を加えました。

〈修正点7〉

該当箇所	基本目標3-基本施策3 「子どもの健やかな育ちを支援する環境の充実」〈施策の方向性〉・・・76ページ
修正前	このことから、札幌市では、子どもが安心して自由に遊べる場所として、引き続き、公園・緑地等の整備や児童会館・ミニ児童会館事業等を推進するとともに、小学校と児童会館の併設化などにより、放課後児童クラブの過密化の解消と利便性の向上を図っていきます。
修正後	このことから、札幌市では、子どもが安心して自由に遊べる場所として、引き続き、公園・緑地等の整備や児童会館・ミニ児童会館事業等を推進するとともに、小学校と児童会館の併設化や民間児童育成会とも連携を図りながら札幌市全体で、放課後児童クラブの過密化の解消と利便性の向上を図っていきます。
修正理由	放課後の子どもの居場所づくりについては、学校を活用した児童クラブの整備推進のみに留まらず、民間児童育成会の役割も踏まえた整備が必要という趣旨のご意見が複数寄せられたことから、計画本文にも、民間との連携のもと放課後の居場所づくりを推進していく旨を明記しました。

〈修正点8〉

該当箇所	基本目標3-基本施策3 「子どもの健やかな育ちを支援する環境の充実」〈施策の方向性〉・・・76ページ
修正前	今後も様々な団体や地域とも連携しながら、引き続き、子どもの健やかな成長を育む多様な体験機会の提供を推進していきます。
修正後	今後も様々な団体や地域とも連携しながら、札幌の自然や文化などの特徴なども生かして、引き続き、子どもの健やかな成長を育む多様な体験機会の提供を推進していきます。
修正理由	子どもの健やかな育ちを支援する体験機会の提供に当たっては、札幌の自然環境等を踏まえた取組が必要という趣旨のご意見が複数寄せられたことから、計画本文にも、自然や文化など札幌の特徴を生かして多様な体験機会を提供していく旨を明記しました。

※ いただいたご意見の概要と、ご意見に対する札幌市の考え方については、札幌市のホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/kodomokeikaku.html>) に掲載しています。